

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	⑤保健・医療	1	健康づくりの増進

事業名	あしゆびプロジェクト	担当課名	こども育成課
-----	------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
笑顔で育ち育てられるまちを目指し、子どもたちに対し、足指の運動を中心とした取組を行うことを通じ、足部のトラブルを未然に防止し、正しい育成を促すとともに、怪我をしない身体や正しい姿勢を習得できる環境作りを進める。
(事業概要等)
園所での運動を委託している「こども体育あそびnet.」により現在行っている体育あそびの中にあしゆびの要素を取り入れた運動を行ってもらうとともに、園所にて先生たちがあしゆびケア・おずみんあしゆび体操・体幹バランス体操を日々の教育、保育に取り入れていけるように体育あそびnet.による講習会を行う。 またモデル園での計測(足長、足囲、足幅、足裏圧力測定、25m走、足指把持筋力、足指柔軟性、立ち幅跳び、開眼片足立ち)と分析を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	759	2,326	1,411	8,583	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
あしゆび研修会参加人数	人	77	—	—	100
あしゆび測定人数(延べ)	人	111	137	162	120
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
「こども体育あそびnet.」により現在行っている体育あそびの中にあしゆびの要素を取り入れた運動を行ってもらった。 モデル園であるくすのき認定こども園での測定に加え、令和2年度より導入した「ミサトっ子」の効果を図るため、条東幼稚園での測定を行い、それらの結果について、あしゆびパートナーシップ参加事業者である株式会社ドリームGPによる検証を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	こども体育あそびnet.による園所でのあしゆび要素を取り入れた運動の導入。
--------	---------------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	園児を測定し、効果検証していくにあたって、同じ検者を継続して測定し、追っていくことが難しい。測定結果の「伸び」があしゆびの効果なのか、成長によるものなのかの判断が難しい。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) あしゆびを鍛えることで、子どもの健康や運動能力向上が期待できるため。
	改革・改善策等の具体的内容	保育士等に対しあしゆびの知識を取り入れた体操等を習得してもらうため、保育士等への指導(こども体育あそびnet.)も取り入れ進めて行く。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	認可外保育施設健康診断助成事業	担当課名	こども育成課
-----	-----------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	認可外保育施設の保育の充実を図る為、認可外保育施設に従事する職員に対し、健康診断を実施することにより、利用する児童の衛生・安全を確保し、児童の健全育成に資することを目的とする。
(事業概要等)	認可外保育施設を利用する児童の衛生・安全対策事業として、認可外保育施設の保育従事者及び調理担当職員の健康診断に要する経費の一部を補助金として交付する。

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	59	62	59	126	
うち市負担分(千円)	23	21	20	42	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
事業実施率(事業実施保育所数/無認可保育所数)	%	100	100	100	100
利用者数	人	16	16	16	30
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
本市に所在する認可外保育施設に対して100%実施することができた。また、利用職員数も10人を超えていることから、認可外保育施設を利用する児童の衛生や安全の確保、更には健全育成に資するものになっていると判断する。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	利用促進のため各認可外保育所に対し制度の説明を行い、保育士の健康管理が子ども達の衛生環境に大きく関わることについて啓発し、制度についての理解を得られた。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	補助健診項目の内容を感染症(結核、赤痢、サルモネラ菌、O-157)の有無に限定していることから、通常健康診断以外に受ける必要があること等が課題として挙げられる。又、保育士等の入れ替わりも多く、制度の周知の引継が行われていない。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 国の動向では認可外保育施設の整備や企業参入、保育ママ等を広めていくという方向性が示されていることから、本市も待機児童解消を含めた整備計画を新たに作成し、児童健全育成の観点からも健康診断補助事業等の拡大も視野に入れていることから、現状を維持することが適切と考えている。
改革・改善策等の具体的内容	認可外保育施設に対し、補助金活用の周知徹底を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	1	子どもを安心して産み育てられる環境づくり

事業名	病後児・体調不良児保育事業	担当課名	こども育成課
-----	---------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
教育・保育サービスの充実を図るため、病後児・体調不良児保育を実施することにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上を図り、もって児童福祉の充実に資する。
(事業概要等)
教育・保育の実施を受けている児童が病気又はけがの回復期にあり、集団保育の困難な期間、一時的にその児童を預かり、保育を行う。また、保育中に体調不良となった場合、保育所における緊急的・保健的な対応を図る。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,763	6,829	7,436	10,427	
うち市負担分(千円)	2,210	2,275	2,479	3,475	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
病後児保育延べ人数	人	35	2	1	-
体調不良児保育延べ人数	人	996	857	914	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
教育・保育の実施を受けている児童が病気又はけがの回復期にあり、集団保育の困難な期間において一時的にその児童を預かり、保育を行った。また、保育中に体調不良となった場合、認定こども園等における緊急的・保健的な対応を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	利用促進のため啓発を行い、制度について理解を得ることが出来た。
--------	---------------------------------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用が減少している。
---------	-------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業効果(成果)の判断を踏まえ、現状を維持することが適切と評価されるため。
改革・改善策等の具体的内容	制度の有用性について啓発し、利用の促進を図る。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	②	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	保育環境改善等事業	担当課名	こども育成課
-----	-----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市内の幼保連携型認定こども園が実施する新型コロナウイルス感染症拡大防止に資する事業に対し補助を行い、子どもの健やかな育ちの環境を整える。
(事業概要等)
利用児童にとっての保育環境の改善をめざし、感染症に対する強い体制を整えるため、市内の幼保連携型認定こども園に対し、職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施する事業及びマスクや消毒液等の衛生用品や感染防止のための備品の購入、施設の消毒等を行う事業に対し補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	3,500	0	
うち市負担分(千円)			1,750		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
事業実施率(事業実施こども園数/こども園数)	%	0	0	100	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市内全園にて事業実施し、物品購入、施設内の抗菌コーティング、感染症対策業務に従事する職員の手当等、各園に応じた感染防止対策を講じることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	感染者数の減少は、さまざまな要素が複合的に作用して実現するものであるため、本事業単体でどれほどの事業効果があったかをはかることが難しい。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 感染症対策は今後恒常的に必要となるため、国等の要綱に追従して継続実施すべきである。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	民間認定こども園等運営補助事業	担当課名	こども育成課
-----	-----------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
保育サービスの充実を図るため、民間認定こども園が実施する保育内容の充実を図るための事業を補助することにより、子どもの最善の利益を考慮して、その生活と健全な発達を保障するとともに、保護者の仕事と子育ての両立及び地域の一般家庭への子育てを支援し、もって、児童福祉の充実に資する。
(事業概要等)
民間認定こども園が実施する泉大津市民間認定こども園運営費補助金交付要綱第3条及び別表に定める事業に対して補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	86,172	86,926	88,834	114,984	
うち市負担分(千円)	60,648	74,762	62,522	80,926	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
事業実施率(実施事業数/(事業数×施設数))	%	77	77	77	77
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
要綱第3条及び別表に定める事業(事業数:8)のうち、運営事業、学校医手当加算、園外保育事業、延長保育事業については100%の実施状況にある。一方、障害児保育・軽度障害児保育対策については、入所児童によって増減するものであり、一概に成果を求めることは難しい。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	より効果が上がるよう内容や基準額の精査が必要であるが、国や府による補助事業の内容により影響される部分が多く、補助事業実施に伴う成果が図りにくい。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業効果(成果)の判断を踏まえ、現状を維持することが適切と評価されるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	民間認定こども園等施設整備助成事業	担当課名	こども育成課
-----	-------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
大阪府補助金等を活用し、民間認定こども園が実施する整備事業を補助することにより、子どもを安心して育てることができる体制整備を行うことを目的とする。
(事業概要等)
令和2年度は、民間認定こども園(アイビースクール)が実施する泉大津市特定保育・教育施設整備費補助金交付要綱第2条に定める事業に対して補助を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	—	96,360	346	186,086	
うち市負担分(千円)	—	24,090	87	46,521	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
事業を行うことにより増えた定員数	人	—	50	—	50
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
民間認定こども園(すこやか)において防犯カメラ設置工事を行い、園児や職員、保護者の安全に寄与し、その工事内容中、泉大津市特定保育・教育施設整備費補助金交付要綱第2条に定める部分に対して補助を行った。令和4年度は条東こども園の大規模改修を行う予定で、0～2歳を受け入れる定員を増やすなど、園の環境整備が行う。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 事業効果(成果)の判断を踏まえ、現状を維持することが適切と評価されるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供

事業名	保育所維持管理事業	担当課名	こども育成課
-----	-----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

保育サービスの充実を図るため、保育所の円滑な運営に必要な施設の維持管理を行うことにより、子どもの最善の利益を考慮して、その生活と健全な発達を保障するとともに、保護者に仕事と子育ての両立及び地域の一般家庭への子育てを支援し、児童福祉の充実を図る。

(事業概要等)

保育所の施設整備など、園所の円滑な運営に必要な維持管理を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	13,876	13,904	13,084	11,536	
うち市負担分(千円)	13,876	12,306	12,228		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
保育所運営率: 年間に正常な運営をした日数/年間運営日数	%	100	100	100	100

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

建物の老朽化が進んでいる中で、保育所の運営に必要な最低限の施設維持管理は堅持している。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	建物の老朽化が激しく、維持管理に必要な予算も限られているため、可能な範囲で職員が時間を作り改善を行っている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	建物の老朽化が激しく、簡易修繕だけでは対応できなくなっている。
---------	---------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の老朽化が加速度的に進行する中で、保育所の維持管理も比例するかたちで増大するが、現状、保育所ニーズも一定あることから、必要な改修については行っていく。
	改革・改善策等の具体的内容	今後は、令和2年10月に策定した泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画に基づき、必要な修繕等を計画的に行い、教育保育機能を維持していく。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすやかにいきいきと暮らせるまちづくり	①子ども・子育て支援	2	充実した就学前教育・子育て環境の提供
事業名	認定こども園維持管理事業		担当課名	こども育成課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

教育・保育サービスの充実を図るため、保育所の円滑な運営に必要な施設の維持管理を行うことにより、子どもの最善の利益を考慮して、その生活と健全な発達を保障するとともに、保護者に仕事と子育ての両立及び地域の一般家庭への子育てを支援し、児童福祉の充実を図る。

(事業概要等)

認定こども園の施設整備など、園所の円滑な運営に必要な維持管理を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	82,811	86,023	91,417	93,867	
うち市負担分(千円)	64,049	79,739	88,010		

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
保育所運営率: 年間に正常な運営をした日数/年間運営日数	%	100	100	100	100

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

建物の老朽化が進んでいる中で、認定こども園の運営に必要な最低限の施設維持管理は堅持している。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	建物の老朽化が激しく、維持管理に必要な予算も限られているため、可能な範囲で職員が時間を作り改善を行っている。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	建物の老朽化が激しく、簡易修繕だけでは対応できなくなっている。今後、大規模修繕や改築等が必要になると考える。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の老朽化が加速度的に進行する中で、保育所の維持管理も比例するかたちで増大するが、認定こども園3園については、今後も維持管理にかかる予算を確保し行って行く必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	今後は、令和2年10月に策定した泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画に基づき、必要な修繕等を計画的に行い、教育保育機能を維持していく。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	3	学校教育の充実
事業名	教育実習受入事業(こども育成課)	担当課名	こども育成課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

泉大津市立の幼稚園において、幼稚園教諭免許の取得を目的とする実習生を受け入れる場合に、当該実習生の所属する大学等から支払われる謝礼金の取り扱いに関し、必要な事項を定めることにより、実習の適切かつ円滑な指導運営に資することを目的とする。

(事業概要等)

幼稚園等において、幼稚園教諭免許の取得を目的とする実習生を受け入れ、将来教職に就くための資質の向上を図るための指導を行う。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	180	180	210	300	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 目標値
幼稚園実習生	人	10	16	16	20
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
適切な実習の受け入れを行うことができ、幼稚園教諭免許試験の合格に繋がっている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	実習の受け入れにかかる謝礼金の取り扱いを平成27年度よりこども未来課に一本化、平成30年度よりこども育成課に移管した。また、大学等への連絡を事前に行うことで謝礼金の納金を円滑に行うことができている。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 幼稚園教諭免許の取得を目的とする実習生を受け入れ、次世代の教諭を育成すること、および教諭としての資質を見極めるため、幼稚園等における実習は必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	3	学校教育の充実
事業名	幼稚園維持管理事業	担当課名	こども育成課	

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

幼稚園施設は、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が進み、安全対策が必要となっている。また、近年、他市においては幼稚園に不審者等が侵入するなど、園児や教職員の安全確保や通園路における交通安全などが課題となっており、幼稚園環境における安全・安心の取組みが必要となっている。

(事業概要等)

幼稚園児の安全・安心な学習環境の確保のために、園舎の改修や修繕等を実施するとともに、幼稚園の正門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより不審者の侵入を未然に防止するなど、園児の安全確保に取り組んでいる。

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,133	18,032	26,773	18,375	
うち市負担分(千円)	11,133	18,032	26,773	18,375	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値
不審者の侵入件数	人	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
幼稚園の正門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより、不審者の侵入を防止することができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・非常通報装置(H14～)(令和2年度更新完了) ・校門見守り員の配備(H17～)
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	幼稚園施設については、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な課題となっている。また、限られた予算内において、年次計画的かつ可能な限り早急に、安全面や機能面の改善を図ることが課題である。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 年次計画的かつ可能な限り早急に改善が必要である。
改革・改善策等の具体的内容	今後の施設のあり方については、令和2年10月に策定した泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画をもとに今後、民間認定こども園化が進んでいくが、現在、在園中の子どもたちや職員の安心、安全に関わる部分については、随時取り組んでいく必要がある。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあ るまちづくり	①就学前・学校教育	3	学校教育の充実

事業名	幼稚園施設整備事業	担当課名	こども育成課
-----	-----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

幼稚園の環境整備及び維持管理を継続的に実施することにより、良好な教育環境の保持を図ることを目的とする。

(事業概要等)

- ・トイレ改修工事設計業務委託
- ・トイレ修繕
- ・非常通報装置設置業務

【事業費】

項目／年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	815	4,621	30,639	4,863	
うち市負担分(千円)	815	4,621	30,639	4,863	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

- ・旭幼稚園のトイレ改修工事を完了し当該園の衛生環境の改善を進めることができた。
- ・条東幼稚園公共下水道切替工事を完了し当該園の衛生環境の改善を進めることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後の施設のあり方については、令和2年10月に策定した泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画をもとに今後、民間認定こども園化が進めていく。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	①就学前・学校教育	3	学校教育の充実

事業名	児童等健康管理事業(こども育成課)	担当課名	こども育成課
-----	-------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

幼稚園における園児及び教職員の健康の保持増進を図るための保健管理とともに、教育活動が安全な環境において実施され、園児等の安全確保を図るための安全管理に関する措置を講じ、教育の円滑な実施に資することを目的とする。

(事業概要等)

- ・園児・教職員の健康保持増進に関すること(学校医等の配置、各種健康診断の実施及び委託等)
- ・学校管理下における怪我、不測の事態に対する環境整備(AEDの設置、日本スポーツ振興センター等)

【事業費】

項目/年度	R01 (決算額)	R02 (決算額)	R03 (決算見込額)	R04 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,967	4,070	4,278	3,581	
うち市負担分(千円)	3,967	4,070	4,278	3,581	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 実績値	R03年度 目標値

(指標を設定できない理由)

健康の保持・保健管理のために実施そのものが法で定められた健康診断や園管理下で不測に発生した怪我等に対する備えが主な事業内容であり、数値での指標設定が困難である。

(成果の概要)

各種健(検)診の実施により、園児・教職員の健康保持増進を図ることができた。また、日本スポーツ振興センター等への加入などにより、特定の疾病や園管理下での怪我による受診に対し、保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興センターの給付金について、支給事務の透明化と学校事務の負担軽減を図った。 ・予算措置にあたって、従前から学校給食事務に係る予算が含まれていたことから、経費区分の整理を行い、事業費の明確化を図った。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員対象の健(検)診について、より効果的な実施方法の検証 ・AEDのパッドやバッテリーの交換時期、AED本体の更新時期が園によって異なることから、効率的な管理方法の確立
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 法に定められた各種健(検)診を実施するとともに、幼稚園、健康福祉部、教育委員会、医師のより一層の連携により、園児・教職員の健康保持増進に取り組む。
	改革・改善策等の具体的内容	教職員対象の健(検)診について、実施日程の拡大など、授業など教育活動を踏まえ、より受診しやすい環境を整えられるよう検討する。